

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2022年最初のFMD Newsをお届けいたします。

昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回された1年となりましたが、

皆様お変わりなくお元気で過ごしのことと存じます。

本年も倍旧のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げますとともに皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



1月のTOPICS

COVID-19による入院患者における内皮機能障害の決定因子

方法：入院中の109人のCOVID-19患者を横断的に研究。臨床データ（年齢、性別、併存疾患、投薬状況）およびBMIが評価されました。臨床検査には、血清ヘモグロビン、白血球、リンパ球、血小板、C反応性タンパク質、フェリチン、D-ダイマー、およびクレアチニンが含まれていました。身体的状態はハンドグリップダイナモメーターを使用し、内皮機能はFMDで評価しました。

結果：被験者の平均年齢は51歳で、51%が男性であり、最も頻繁な併存疾患は肥満（62%）でした。単変量解析では、FMDの低下と、BMIの上昇、高血圧、経口降圧薬の使用、血中クレアチニン濃度の上昇、および安静時動脈径との関連が示されました。交絡因子を調整した後、多変量解析では、FMDに関連する主要な要因としてBMI（95%CI：-0.26~-0.11; p<0.001）が示されました。FMDに関連する他の要因は、安静時動脈径（95%CI：-1.77~-0.29; p=0.007）および血中クレアチニン濃度（95%CI：-1.99~-0.16; p=0.022）でした。

結論：BMIの増加は、非重症入院患者の内皮機能障害に関連する主要な要因でした。これは、肥満が重度のCOVID-19のリスクを高める可能性があることを示唆しています。

出典元：Obesity (Silver Spring). 2021 Sep 23;10.1002/oby.23311. doi: 10.1002/oby.23311.

ユネクスからのご案内

YouTubeチャンネル

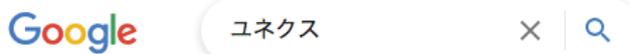
弊社役員や社員が被検者となりFMD検査の様子をYouTubeにアップしていきます。

様々な条件での測定や社員でのFMD値ランキングなどを企画していますので是非ご覧ください。



ホームページを新しくしました。

シンプルにわかりやすい内容になりましたのでこちらも是非ご覧ください。



第27回診断技術向上セミナーにてハンズオンを実施いたします

会期：2月6日（日） 会場：都市センターホテル（東京都千代田区）

